

過去最大の予算チェック

予算審査特別委員会 審議のあらまし

予算審査特別委員会は3月6日と8日の2日間、開会した。令和6年度一般会計予算と3特別会計予算・下水道事業会計について、活発な質疑応答を行い、原案どおり可決した。その後、審査意見書を提出した。

▼タブレット導入

議員 導入するタブレットの様子は。

情報政策監

議会運営の効率化に向けてペーパーレス会議システムを導入したい。様々な機能があるが、シンプルでわかりやすいものを導入予定。

町長

紙資料を削減することで資源の有効活用と環境保全につなげたい。

▼地域おこし協力隊

議員

地域おこし協力隊は現在1名で来年度は3名の予算を計上しているが、募集方法は。

総務部長

多くの応募があり、既に採用は決まっている。当初3名で予定していたが、1名辞退があり、現在の1名と新規1名の2名体制で来年度は進める。

▼小屋浦地区活性化

議員

小屋浦地区活性化基本構想策定業務2860万円は。

企画財政課主任

今年度行ったアンケートを基に商業などの民間事業者誘致に向けて、課題などの整理や事業計画の提案募集を行う。

議長

アンケートはどの範囲で調査したのか。

企画財政課長

住宅、商業、医療関係事業者など40社以上にアンケート調査を行った。

議長

住民の声も聞いてほしい。

町長

住民協で要望していたできれば、検討していく。

▼保健・福祉総合相談窓口

議員

保健・福祉総合相談窓口運営事業3617万円と重層的支援体制整備事業6119万円の関係は。

民生課長

町でこれまでも実施してきた福祉関連事業の一部の補助金を一体化したうえで、保健・福祉総合相談窓口の機能を追加して補助金が一括交付されることになる。

なお、窓口の運営費部分には国・県から四分の三の補助金が交付される。

議員

地域支援コーディネーターと窓口人員配置は。

民生課長

職員2名とコーディネーター2名の合わせて4名の予定である。

議員

スタートはいつか。

民生部長

令和6年4月1日である。

▼いきいき百歳体操

議員

いきいき百歳体操会場に、口腔体操などが行える音響機器を3月まで無料使用しているが、4月以降どうなるのか。

保険健康課係長

5年度までの契約であるが、令和6年度も引き続き使用できるよう交渉中である。



いきいき百歳体操

復興から新しいまちづくりに向けて

審議のあらまし

▼避難の呼びかけ事業

議員

避難の呼びかけ体制構築支援事業補助金は、

環境防災課係長

令和元年度に県のモデル事業として、小屋浦地区住民協が実施した。それ以降、西側、横浜二部、鯛尾の3地区で住民協が実施している。引き続き、各住民協に案内をする。

▼坂つめじろう饅頭

議員

坂つめじろう饅頭の発売が遅れているが、いつ頃になるのか。

産業建設課長

パッケージなどを3月末までに制作、令和6年4月以降に饅頭生産を発注し、販売する。

▼県道坂小屋浦線

議員

県道坂小屋浦線整備で、県営負担金2033万円となっているが、計画は。

県道推進室長

総頭川渡河部と高架橋の下部工事を予定している。上部工はJＲと協議中である。

▼公園遊具長寿命化

議員

公園遊具長寿命化計画策定2150万円は。

都市計画課長

多くの方に公園を安全に利用していただくため、遊具更新で有利な起債が可能な長寿命化計画を策定する。

▼坂中学校体育館改修

議員

坂中学校体育館床など改修と工期は。

学校教育課係長

体育館床面と内壁の改修で、工期は夏休みから3月末までを予定。休館中は町内他施設を使用する予定である。

▼ふるさと資料館の整備

議員

国補助金3000万円とふるさと資料館整備事業は。

生涯学習課長

空き家を資料館として整備し、横浜小学校に保存展示していた資料だけでなく、坂地区、小屋浦地区の資料も含め町全体の資料館にする。

町長

現在、候補地の家主と契約締結の準備を進めている。

予算審査特別

委員会意見書

新型コロナウイルス感染も落ち着き、平時の状況を取り戻しつつあるが、物価高や円安の影響は、本町を取り巻く経済状況に大きな影響を与えており、依然、厳しい状況が続いている。

こうした中、こども医療費助成制度の拡大、給食費支援事業など子育て世帯の支援、また、保健・福祉の総合相談窓口の開設や循環バスの土曜日運行、人口増に向けた小屋浦地区の活性化施策は、人口減少、高齢者対策に不可欠であるため、その推進に取り組んでいただきたい。

また、坂東環状線をはじめとする道路整備事業や海岸保全施設整備事業など計画的な社会基盤の強靱化は高く評価できる。引き続き、本町の発展のために努めていきたい。